

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

平成31年 2月 28日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人さつき会	特別養護老人ホーム 袖ヶ浦菜の花苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
コミュニケーション ロボット	富士ソフト株式会社 コミュニケーションロボット PALRO (パルロ)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成31年 2月 1日	1台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 平成31年1月28日：富士ソフト（瀬古氏）来苑、パルロセットアップ、説明会実施。 平成31年2月1日より試験導入開始 #1：使用方法については資料1参照 #3：ご利用者20名 顔認識登録(2月20日現在) #2：使用状況については資料2参照		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・9時40分～10時15分：体操にて活用⇒その間、職員は居室を回る事ができ安全管理が充足 ・14時00分～15時50分：クリエーションにて活用⇒その間、職員はお茶出し準備や環境整備に時間を活用（円滑に夕食時間へシフトでき又清潔面においても今まで以上に整備が図れる）。 ・体操、クリエーション共にプログラムも多く日々のマンネリ化を解消（日常生活の活性化）。 ・パルロとコミュニケーションを図る事で会話が多く生まれ脳トレにもつながる事を期待。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・スムーズに会話が成り立たない事が现阶段では多い（パルロが話し終わるまでは話しかけても反応がない為、会話のタイミングがずれてしまう）。 ・話しかけに対して全く違う内容の返事が返ってくる事がある（但し、それに対して笑いが生まれる利点は何える）。 ・现阶段では試験導入の為、職員がパルロの性能を学習している段階であり今後の活用方法については使用状況をみながら再検討を予定。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

令和2年 月 日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人さつき会	特別養護老人ホーム 袖ヶ浦菜の花苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
コミュニケーション ロボット	富士ソフト株式会社 コミュニケーションロボット PALRO (パルロ)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成31年 2月 1日	1台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 平成31年1月28日：富士ソフト（瀬古氏）来苑、パルロセットアップ、説明会実施。 平成31年2月1日より試験導入開始 ※9時00分～10時15分 13時30分～15時50分 ※利用状況をみながら体操・歌（合唱）・談話に活用（詳細については別紙参照）		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 活用時間においては職員のマンパワーが確保される為、環境整備や日誌等の記録等の時間をあてる事ができる為、業務時間の有効活用が成立する。サービスの質の向上という側面からも色々なプログラムを活用する中でご利用者にとって日常生活の活性化につなげる事ができる。		
【介護ロボットの不都合な点】 会話については人同士であれば通常、相手が話をしている途中でも話しかけられれても会話は成立するが、パルロと人との間ではパルロは自分が話し終わるまでは相手（ご利用者）の会話を聞く（理解する）ことは困難な為、会話の成立が難しい場面は多々伺える事がある。 小型タイプという面で持ち運び等、特性もあるが小さすぎでご利用者にとって傍でないパルロの動きを理解できない場面はある。 当苑においては認知面において比較的重度の方も多いため、その点も踏まえると実際に活用してみても効果（反応）をみるには限られたご利用者に留まってしまう可能性はある点は少し危惧される。但しご利用者も入れ替わりは実際にはある為、ご利用者のアセスメントに力を入れる中でパルロの有効活用は引き続き視野にいれ支援にあたりたいと考えてます。		